

市民会館整備に向けてご意見をお聞かせください

文化課・☎202229・FAX211005・✉bunka@city.ashikaga.lg.jp

新しい市民会館の整備に向けて、求められる役割や機能の検討にあたり参考とするため、市内に在住・在勤・在学の方および事業者、施設利用者などを対象に意見募集を次のとおり行います。



市民ミーティング

日時 10月24日(日) 午後2時30分～
場所 市民プラザ別館(旧研修センター)第1研修室
定員 先着50人
申込 10月7日(休)午前9時から電話で同課



▲詳細は市ホームページをご覧ください。



市民意見シートによるご意見の募集

配布場所 市ホームページからダウンロードできるほか、同課(市役所教育庁舎1階)、市民プラザおよび市民プラザ別館窓口で配布
提出期間 10月18日(月)～11月1日(月)
提出方法 同シートにご意見および必要事項を記入の上、同課へ持参、Eメール、ファクスまたは郵送(〒326-8601足利市役所文化課あて)※匿名による意見の提出や電話または来庁による口頭での申し出は受付できませんので、あらかじめご了承ください。

足利市民会館閉館に寄せて

足利市民会館は、令和3(2021)年6月30日(水)をもって閉館し、55年の歴史に幕を閉じました。昭和41(1966)年9月に開館以来、芸術・文化の殿堂だけでなく、結婚式、会議、食事など人々が集う場所として、およそ2,065万3,000人の方にご利用いただきました。人口の変動はありますが、市民1人当たり、年に3回以上ご利用いただいた計算になります。昭和39(1964)年から市民会館の建設資金の寄付・募金活動が始まり、業種別に目標額が掲げられ、企業や個人事業主を中心とする寄付や自治会単位での市民への募金活動が開始されました。その結果、当時の建設費、5億6,285万5,000円のうち、およそ3分の1にあたる1億6,155万5,000円が市民や企業などからの寄付で賄われたこととなります。このことから『自主自立』の精神に富んだ足利市民の心意気がうかがえ、まさに『市民会館』の名前がふさわしい施設といえます。

当時、オリンピック景気に陰りが見え、企業や個人事業主の方々は、寄付金の捻出に様々なご苦労があったと聞いています。そのような背景の中、寄付や募金をいただいた市民や企業の方々に改めてお礼を申し上げます。

また、市民会館の運営についても開館当初から市内の芸術・文化関係者と連携して、NHK交響楽団の公演や狂言教室など地方都市ではなかなか見られない上質な公演などを誘致してきたことが今日まで受け継がれ、本市の芸術・文化の向上につながってきました。

これまで芸術・文化活動や様々な活動拠点として培われてきた市民会館のハード面・ソフト面の特性を新市民会館の整備に向けて、活用していきたいと考えています。

市民会館の建設・運営に関わられた方、ご利用いただいた方、すべての方々に心より感謝を申し上げます。

足利市長 早川 尚秀

